

基準 9. 教育研究環境

9-1. 教育研究目的を達成するために必要なキャンパス（校地、運動場、校舎等の施設設備）が整備され、適切に維持、運営されていること。

《9-1の視点》

9-1-① 校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設等、教育研究活動の目的を達成するための施設設備が適切に整備され、かつ有効に活用されているか。

9-1-② 教育研究活動の目的を達成するための施設設備等が、適切に維持、運営されているか。

(1) 9-1の事実の説明（現状）

本学は、新潟市西部の JR 越後線越後赤塚駅徒歩 7 分の位置に本校（みずき野）キャンパスと、新潟市中心部に新潟中央キャンパスを有し（図 9-1-1）、校地、校舎の面積は表 9-1-1 のとおりである。

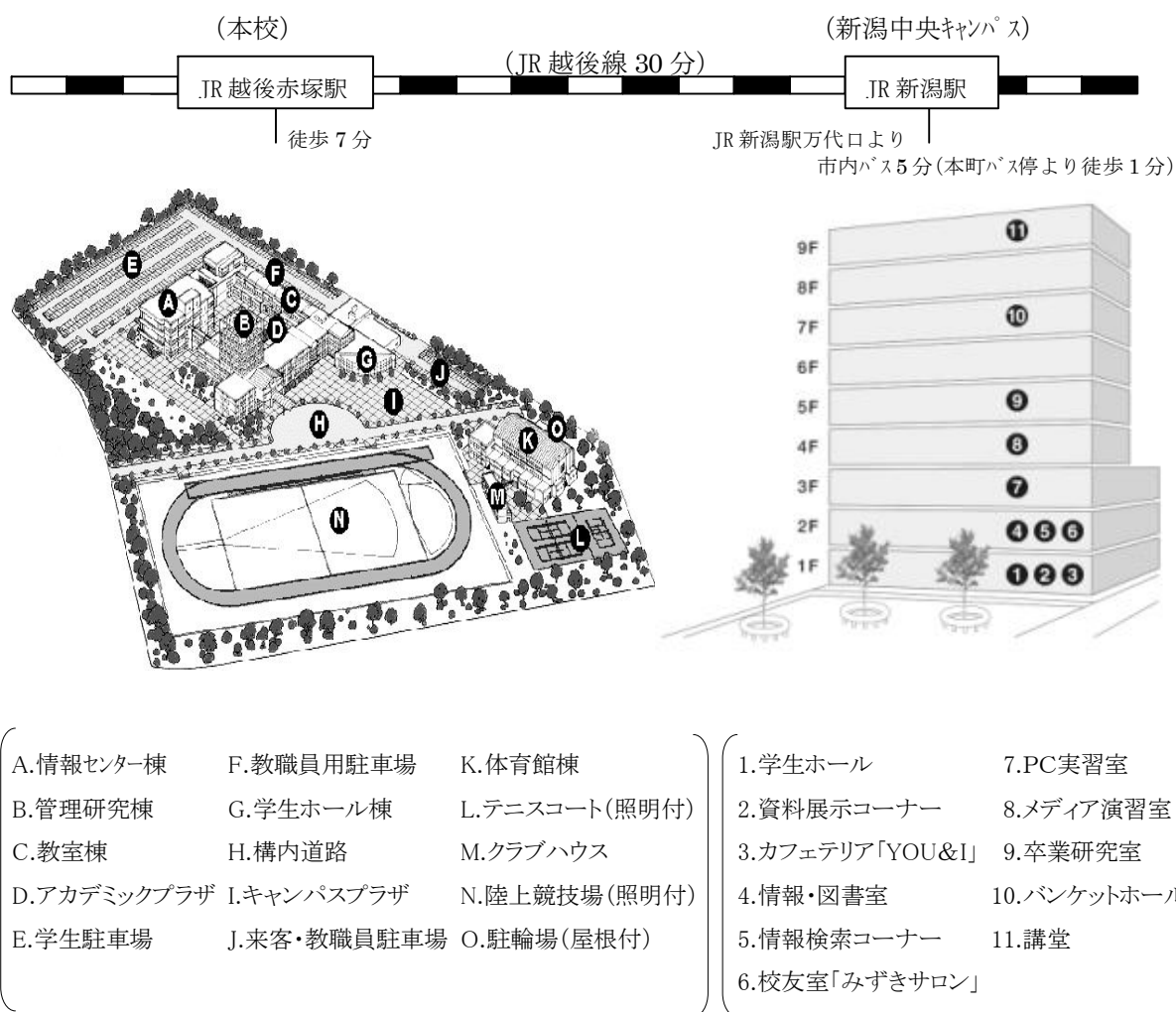


図 9-1-1 キャンパス案内図

表 9-1-1 大学設置基準と校地、校舎の比較

	校地面積 (㎡)	設置基準上必要な面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	設置基準上必要な面積 (㎡)
本 校	78,464.00		15,898.56	
新潟中央キャンパス	2,250.00		8,635.42	
計	80,714.00	10,000.00	24,532.98	5,619.00

本校校舎は、管理研究棟、学生ホール棟、教室棟、情報センター棟からなり、表 9-1-2 に示す概要となっている。

表 9-1-2 本校校舎

床面積 (㎡)		管理研究棟	学生ホール棟	教室棟	情報センター棟	
		内 容			床面積 (㎡)	内 容
1 F	5,478.03	事務局、会議室、教員研究室、保健室、学生相談室	学生ロビー、学生食堂、売店、銀行 ATM	30人教室、50人教室、100人教室、400人教室、学友会室、ロッカー	2,014.60	情報閲覧室、貴重図書室、事務室
2 F	3,422.75	役員室、会議室、20人教室、就職情報コーナー、喫煙室	学生ロビー、喫茶室	50人教室、150人教室	1,912.63	70年代/77実習室1~3、なび広場、AVスタジオ、国際交流センター
3 F	882.93	教員研究室		320人教室	1,011.50	70年代/77実習室4~7、LL準備室、人間情報工学実習室、グループ実習室
4 F	392.04	教員研究室、セミナー室				
5 F	392.04	教員研究室、セミナー室				
6 F	392.04	教員研究室、セミナー室				
計	10,959.83				4,938.73	

教室棟(1部管理研究棟を含む)には、20人~400人収容可能な教室が整備されており、少人数授業から学部全体の講義・講演まで対応可能となっている。また、OHP、液晶プロジェクター等のAV機器が常備されており講義等に有効に活用されている。

情報閲覧室(図書館)は、情報センター棟の1階にあり、面積2,015㎡、閲覧席172席、蔵書冊数は平成18(2006)年度末で、図書88,733冊、所蔵雑誌1,342種類、視聴覚資料621種類である。室内は無線LAN化され、PC(パソコン)の整備によりインターネット経由の蔵書検索(OPAC)、各種データベースや電子ジャーナル、ホームページ上から図書の予約や利用照会、近隣図書館との横断検索が学内外から利用できる。平成18(2006)年度には、携帯電話からOPAC、利用照会、開館カレンダーが利用できるサービスを開始した。これらのサービス提供により、場所や時間を問わず最新情報を即時で閲覧できるシステムを整備している。施設面では、グループで討議しながら学習ができるグループ学習室、静粛な

環境で学習ができる集中学習室、視聴覚教材を用いて語学学習ができる語学自習室を設置し、目的に応じた施設を整備することにより学習環境の充実を図っている。

開学時から設置してある入退館システムにより、学科、学年別、曜日別、時間帯別の各利用者データを自動的に採取し、利用動向の把握及び利用目的に即した環境整備を行っている。また、入退館ゲートや通路は、車椅子が通れる構造となっており、閲覧室内の車椅子用閲覧機の設置により障害者に対応した施設ともなっている。

開館時間は、開講中は平日午後 8 時、土曜日は午後 5 時までである。平成 18(2006)年度の入館者は 64,977 名で、1 日平均 244 名の入館があった。(表 9-1-3)

職員は、全員司書資格を有しているが、技術系の専任職員がいないため情報センターの情報機器ネットワーク管理担当の職員と緊密に連携し、安定したサービスの提供に努めている。

表 9-1-3 情報閲覧室（図書館）の利用統計

(単位 貸出：冊、入館：人)

		H16 年度	H17 年度	H18 年度
教職員	貸出	670	625	632
	入館	954	1,004	1,383
学外者	貸出	338	370	438
	入館	144	142	1,415
学 生	貸出	10,368	12,141	11,355
	入館	53,802	59,476	62,179
合 計	貸出	11,376	13,136	12,425
	入館	54,900	60,622	64,977

国際化教育・国際交流の場として、情報センター棟の 2 階に国際交流センターが整備されている。ロシア、中国、韓国、アメリカ、カナダに提携校を有する本学の異文化理解教育の拠点として授業、セミナー等に活用されている。またサロンも設置されており、学生が自由に利用でき国際化に親しめる環境となっている。

情報教育にかかわる施設設備については、情報センター棟 2 階、3 階を中心に展開している。表 9-1-4 に PC の配置状況を示す。実習室に整備されている PC は全て LAN に接続されており、インターネットを利用することができる。また、語学教育のために LL 設備及び CALL(Computer Assisted Language Learning)設備を一部教室に配置している。PC 台数は少人数教育を基本として各実習室に設備しているが、履修希望者数が 1 クラスを越える場合でも、「教室統合システム」によって複数の教室を 1 つの仮想教室として利用することもできる。パソコン実習室と「なび広場」は、主に自主学習での PC の利用を目的としており、開放時間中はいつでも利用できるようになっている。また、他の実習室でも授業で使用されなければ学生は自由に PC を使用することができる。

本学の通信環境に関しては、インターネット接続回線が、本校から学術情報ネットワーク(SINET)に対して 100Mbps、新潟中央キャンパスから一般商用回線に対して 100Mbps で接続されている。本校と新潟中央キャンパスの間は光ファイバーで接続されており、

1Gbps の高速通信を実現している。このキャンパス間ネットワークにより、本校で行われている講義を新潟中央キャンパスに配信する遠隔授業が可能になっている。

学内ネットワークは、ギガネットワークに対応しており e ラーニングコンテンツの利用、PC を活用した授業などでの利便性が向上している。平成 16(2004)年度には学内域すべてを対象とした無線 LAN サービスを開始しており、屋外を含むあらゆる場所でネットワークを利用することができる。

表 9-1-4 実習室等の PC 整備状況

	座席数 (PC 数)	プリンタ数	スキャナ	プロジェクタ	その他
マルチメディア実習室 1 (251)	40	1	0	1	総合教室対応
マルチメディア実習室 2 (252)	40	1	0	1	総合教室対応
マルチメディア実習室 3 (253)	40	1	0	0	
マルチメディア実習室 4 (351)	40	1	0	0	LL 設備
マルチメディア実習室 5 (352)	40	1	0	0	LL 設備
マルチメディア実習室 6 (353)	42	1	0	1	CALL 設備
マルチメディア実習室 7 (354)	42	1	0	1	CALL 設備
255 教室	42	1	0	2	
パソコン実習室	48	1	12	0	
なび広場	30	1	0	0	

体育施設としては、体育館棟、陸上競技場、クラブハウス、テニスコートが整備されている。体育館棟にはアリーナのほか、ウェイトトレーニング室、エアロビクトレーニング室が整備されており基礎体力の養成、健康の保持増進、シェイプアップやビルドアップなどの身体作りのために正課授業のみならず、課外活動や学外者にも広く利用されている。陸上競技場は、400mトラック (8 コース) 及び陸上競技関連の設備や、芝生のサッカーコート (1 面) からなる。テニスコートは、スーパークレイコート 3 面が整備されており、両施設とも夜間照明の設備が整っている。(表 9-1-5)

表 9-1-5 体育施設の整備状況

	体育館棟		クラブハウス		陸上競技場		テニスコート	
	床面積 (㎡)	内 容	床面積 (㎡)	内 容	床面積 (㎡)	内 容	床面積 (㎡)	内 容
1 F	1,743.67	アリーナ、トレーニング室、クラブ室、研究室1、教員室	180.00	クラブ室	20,088.00	400mトラック (8コース)、 サッカーコート (芝生)	2,109.00	3面
2 F	392.66	トレーニング室、クラブ室、研究室2	180.00	クラブ室				
計	2,136.33		360.00		20,088.00		2,109.00	

新潟中央キャンパスは地上 10 階、地下 1 階で、表 9-1-6 に示す概要となっている。主に 3、4 年次生と卒業生を中心に活用されている。また、エクステンションセンターを併設しており、社会人を主としたオープンカレッジを積極的に展開している。

表 9-1-6 新潟中央キャンパスの概要

	床面積 (㎡)	主な施設
1F	740.02	学生ホール、資料展示室、カフェテリア
2F	771.28	情報図書室、閲覧コーナー、事務室、校友会（みずき会）サロン
3F	771.28	演習室 31～36、PC 実習室
4F	726.73	メディア演習室 41～46、教員研究室
5F	726.73	演習室 51～54、教員研究室、卒業研究室
6F	726.73	セミナー室 61～65、会議室
7F	726.73	会議室、バンケットホール
8F	726.73	セミナー室 81～84、会議室
9F	726.73	講堂 1・2
10F	705.94	機械室
B1F	1,286.52	倉庫
計	8,635.42	

施設設備の維持管理は、法人会計課が担当している。建物、施設設備は建築基準法に基づき定期的に検査を実施しており、水質、空気中の CO₂ 濃度等の検査も専門業者との委託契約により検査、報告をしている。また、消防法に定める消防訓練も年 1 回職員全員が参加して実施している。

学内外の清掃業務、警備業務、エレベーター等の保守点検業務も、専門業者と委託契約を結び安全管理に努めている。

(2) 9-1 の自己評価

校地、校舎の面積はいずれも基準を満たしている。情報閲覧室（図書館）は、入退館者数が年々増加をしていることから、施設設備は有効活用されていると評価できる。加えて各種利用統計からも利用者にとって有効な機能を備えている施設として利用されていると思われる。情報機器等の施設は、授業に関しては一人 1 台の PC が割り当てられ、更に授業外でも自主学習ができるよう常に実習室を開放している。

また、4～5 年に一度 PC はリプレースされ、常に最新の情報機器が提供されると共に、メディア準備室には情報機器ネットワーク管理担当の職員を配しており、メンテナンス等も十分な体制となっている。

また、体育施設内のトレーニング機器や新潟中央キャンパスの IT 環境等の充実した設備も、適切な管理により維持管理がなされている。

(3) 9-1の改善、向上方策（将来計画）

授業と連携して情報閲覧室（図書館）利用を伴う課題の出題等によって図書館の利用を習慣づけ、更なる図書館の有効利用を図る。また、館内の学習環境改善のため、ガイダンス、掲示等で利用マナーの啓蒙を行う。情報化教育を支援するため、今後とも基本ネットワークを改善強化し充実したネットワークサービスを提供する。

9-2. 施設設備の安全性が確保され、かつ、快適なアメニティとしての教育研究環境が整備されていること。

《9-2の視点》

9-2-① 施設設備の安全性が確保されているか。

9-2-② 教育研究目的を達成するための、快適な教育研究環境が整備され、有効に活用されているか。

(1) 9-2の事実の説明（現状）

本校校舎は平成5(1993)年、新潟中央キャンパス校舎（旧銀行本店）は平成2(1990)年に建設されており、いずれも建築基準法が改正された昭和56(1981)年以降の建物であり、耐震基準に適合している。また、アスベストについては、専門業者による調査を実施した結果、いずれの施設もアスベストの使用は認められなかった。空調設備、電気設備の維持管理は、外部の専門業者との委託契約により定期的な安全管理のための点検が行われている。また、エレベーターの保守点検についても、製造メーカーの系列業者との契約により、より安全性が保たれている。

本学は、学生定員1,000人に対して約80,000㎡という広大な校地（本校）を有している。アカデミックプラザ（中庭）を中心に、管理研究棟、学生ホール棟、教室棟、情報センター棟が、雪国に配慮して1、2階から廊下で接続されており、極めて機能的な構造となっている。更に、6階建の管理研究棟を除き、学生ホール棟、教室棟は2階建（一部3階建）、情報センター棟は3階建となっており、学生にとって学内移動等、利用しやすい構造となっている。

また、校舎建築に当たっては、設計の段階で身体障害者等の車椅子での利用が考慮されており、1階、2階を主に、障害者トイレ、スロープの整備や情報閲覧室の入退館システム、エレベーターの配置についても充分配慮された構造となっている。情報閲覧室（図書館）には、開学当初（平成6(1994)年）より入退館システムが導入されており（平成18(2006)年入れ替え）、館内のセキュリティ対策も図られている。

本校は、新潟市の西部に位置し、公共交通手段による通学が不便であるため約400台の駐車場を用意し、学生の便宜を図っている。ただし、通学時における事故等の防止のため、学内で開かれる交通安全講習会への出席と任意保険への加入が義務付けられている。

学生ホール、学生食堂（300席）、喫茶室（60席）、国際交流センター、情報閲覧室（図書館）及び「なび広場」は常に開放されており、自習や学生同士、また教員との交流の場となっている。

新潟中央キャンパスは、新潟市の中心部にあり、旧地元銀行本店の建物であり、地上10

階、地下1階となっている。主に3、4年次生の授業や、卒業研究等に活用されているが、1階にはロビー（学生ホール）、カフェテリア、2階には情報・図書室が整備され、学外者も自由に利用できるスペースとなっている。3階から上階の各フロアーにはロビーを設置、また7階にはバンケットホールを備えており、同窓会総会や、卒業生または学会の懇親会等にも利用されている。1階ロビーには、東京藝術大学長の宮田亮平先生の作である「シュプリングエン」と題したイルカのモニュメントが、父母会の寄贈により設置されており、多くの方々により鑑賞され親しまれている。

平成14(2002)年の健康増進法の制定に伴い、本学でも受動喫煙を防止するための対策が講じられ、本校は学生ホールの密閉型の喫煙室と管理研究棟の喫煙スペースを除く館内を、新潟中央キャンパスはバンケットホールの一部を除く館内を各々禁煙とした。

(2) 9-2の自己評価

本学は、新潟市の郊外の広大な校地と恵まれた自然環境の中に本校があり、校舎内は日常清掃、定期的なメンテナンス等により、また、陸上競技場や校舎周辺校地には芝生が整備され桜等の樹木も多く、校舎内外共行き届いた管理により明るく清潔な環境に保たれ、充実した教育環境と評価できる。加えて、施設設備の安全性も充分満たしており、災害時の地域住民も含めた一時的な避難場所としても指定されている。

また、新潟市の中心部にある新潟中央キャンパスも、IT環境をはじめ、明るく清潔な校舎に交通の至便さも加わり、充実した教育環境が整備されていると評価できる。

本校及び新潟中央キャンパスのいずれにも、AED(自動体外除細動器)を備え付け、取り扱いについても全職員が説明会に参加し、学生、教職員の不慮の事故に対応できる体制を整えている。

分煙については、校舎内の禁煙は順守されているが、校舎外でのポイ捨てが一部見られ喫煙マナーの改善啓蒙を徹底しなければならない。また、違法駐車や迷惑駐車についても長年の懸案事項であり具体的な対策を急ぐ。

(3) 9-2の改善、向上方策（将来計画）

全体としては、現状の維持管理に努めつつ、学内の各委員会、学生等の要望を精査し更なるキャンパスアメニティの充実を目指す。

今年度は、体育館アリーナの暖房設備の実施、学生駐車場の増設を実施する。また、開学13年間を経過し、トイレ、洗面所の環境の改善やバリアフリー施設の充実をすすめていくこととする。

【基準9の自己評価】

校地、校舎の面積及び施設設備の整備については、法的な基準を満たすと共に教育研究の目的にも十分な環境が整備されている。

施設設備の管理及び構内の植栽等の維持管理、清掃については、専門業者と委託契約を結んでおり、献身的な業務遂行により明るく清潔な環境に維持されている。

【基準9の改善、向上方策（将来計画）】

開学14年目という比較的新しい本学は、校舎施設設備、体育施設とも適切に維持運営されているが、危機管理については明確な組織が整備されておらず、安全面の管理からも体制作りを急いですすめる。

バリアフリーについては、エレベータの設置、トイレ、情報閲覧室等ある程度は車椅子対応となっているが、駐車場等未整備なところもあり今年度中の整備を図る。

学生の路上駐車や迷惑駐車を解決するため、新たな駐車場整備と交通事故防止のための啓蒙活動を更にすすめる。